

## YOSHINORI SATO

佐藤 義則

生年月日：1954年9月11日

出身地：北海道奥尻郡奥尻町

血液型：O型

サイズ：身長:181cm、体重:86kg

肩書：プロ野球コーチ、解説者

投打：右投右打

出身校・球歴：

函館有斗高-日大-阪急-オリックス

コーチ歴

オリックス1999-2001/阪神2002-2004/

日本ハム2005-2007/楽天2009-2014/ソフトバンク2015-2017/楽天2018-2019

通算成績 165勝137敗48 S / 防御率3.97/1755奪三振

獲得タイトル

新人王(1977)/最多勝(1985)/最優秀防御率(1986)

最多奪三振(1984/1985)/ノーヒットノーラン(1995年8月26日)



長身から投げる落差の大きな独特の変化球は魔球「ヨシボール」と呼ばれ、44歳までの22年間の現役生活を支えた。指が短くフォークボールが投げられない為、代わりとなる決め球が必要だった。フォークボールのように人差し指と中指で挟むことができないなら、親指と人差し指で挟み、フォークボールと全く同じように投げれば良いという考えから、ヨシボールが完成した。

引退後は翌1999年より2001年まで古巣オリックス、2002年～2004年阪神タイガースの一軍投手コーチを歴任。井川慶を育て吉野誠を鍛え、勝利の方程式の一員にし、ジェフ・ウィリアムスを抑えにして2003年には阪神の18年ぶりのリーグ優勝に大きく貢献。

2005年からは地元・北海道日本ハムファイターズの投手コーチに就任。武田久、ダルビッシュ有を育て、2006年に北海道移転後25年ぶりのリーグ優勝。44年ぶりの日本一に貢献。2007年には球団初となるリーグ連覇。ダルビッシュら若手の育成に力を注ぎ、リーグ屈指の投手王国を築いた。

2007年オフに、プロ野球マスターズリーグの札幌アンビシャスへ加入。

2008年には、解説者として活動した後に、2009年野村克也監督に「日本一の投手コーチ」と称され、楽天に入団。田中将大らを育成し、球団史上初のクライマックスシリーズ進出を果たし、球団初のパ・リーグ優勝と日本シリーズ制覇に貢献した。2014年、楽天を退団。

2015年、ソフトバンクに入団。2回のリーグ優勝と日本一に貢献。2017年に退団。

2018年より、楽天の投手コーチを務める。2019年に退団。